

平成 29 年 10 月 06 日

疫学研究とは、病気にかかることの頻度や病気の多さを調べて、その原因を明らかにする研究です。私たちは過去のカルテより得られた情報を利用して、現在まで行われた病気の診断・治療の評価を行い、より良い診断・治療法を確立し患者さんに還元できるように、下記の疫学研究を行っています。

下記の疫学研究は、兵庫県立尼崎総合医療センター倫理委員会の承認を得た後、研究責任者の管轄のもとに行われます。当院にすでに記録されている臨床情報をもとに行われるため、対象となる患者さんに新たにご負担をおかけすることはありません。

また、この研究の結果は専門の学会や学術雑誌に発表されることがありますが、対象者のプライバシーは十分に尊重され、個人に関する情報(氏名など)が外部に公表されることは一切ありません。

もし、下記の疫学研究にご自身の臨床情報を使用されることに同意されない方は、下記連絡先にご連絡くだされば、解析対象から除外させていただきます。同意されない場合でも、診療上であなたが不利益を被ることは一切ありません。また下記研究に関して、ご不明な点がございましたら、いつでも下記連絡先にお問い合わせください。

<概要>

研究課題名：「冠血流予備量比と比較検討した瞬時血流予備量比の有用性」

研究期間：2015年12月から2018年05月までを予定しています。

対象：2015年12月から2017年05月に兵庫県立尼崎総合医療センターにて冠血流予備量比(fractional flow reserve: FFR)もしくは瞬時血流予備量比(instantaneous wave-free ratio: iFR)を測定した症例。

研究目的：中等度の冠動脈狭窄病変に対しては、FFRを用いた生理学的評価を行い、血行再建を施行するか否かの適応を決定することが推奨されています。しかし、FFRを測定するためにはアデノシンなどの血管拡張薬を使用する必要があり、薬剤投与のための時間を要するだけでなく、胸部不快感などの症状を伴う頻度が多いことが知られています。一方、iFRは血管拡張薬を必要とせず、瞬時に生理学的評価を行うことができます。今回の研究目的は、iFRによる冠動脈生理学的評価の有用性をFFRと比較検討することです。

方法：診療記録より臨床情報を収集します。収集する臨床情報には、年齢、性別、体重、基礎疾患、血液検査結果、内服薬、病変情報、検査手技情報などがあります。研究成果は学会、および論文にて公表します。

個人情報：臨床情報は匿名化され、個人が特定できないようにして、必要な臨床データのみを収集して解析を行います。そのため、本研究に協力していただく患者さんに不利益が生じることはないと考えています。しかし、そうであっても臨床情報を本研究のために使用されたくない方は、ご連絡いただければ解析対象から除外します。

問い合わせ先：

研究責任者：西本 裕二

兵庫県立尼崎総合医療センター 循環器内科
〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町 2-17-77
TEL: 06-6480-7000 FAX: 06-6480-7001
E-mail: yuji.nishimoto@gmail.com